



善正寺だより

掲示板法話

限りある生命と知らされ 限りなきいのちにならずく人生は豊かである

厳しい暑さが続く中、今年も早や、八月を迎えました。広島、長崎の原爆投下の日、そして旧暦のお盆と共に終戦記念日を迎えます。

小林一茶は六十五歳のお盆に、「送り火や今に我らもあの通り」と詠んだそうです。自分自身に「覚悟はよいか？」と問いかけている一茶の心情がうかがえますね。

私もこの夏初盆を迎える人のことを思い出しています。親戚の女性で、ご主人亡き後、大学病院で手術を受けました。ご主人を亡くして何年か経った頃ですが、実の子供がなかったため、術後経過の診断を受けるため大学病院に来られるたびに、従兄弟同士のよしみで、私のもとを訪ねてくれました。「いつも浄土にやってもらってもいいのだけれど、よいお医者様にめぐり合って命拾いさせてもらったのだから、今日のいのちを喜ばせてもらわなきゃあ、と思ってるのよ」と言っていました。今春、逝去の際、遺体を献体されたのも私の父が献体したことにおったのだと気づかされ、一層懐かしさを覚えました。「お浄土に仏として生まれ変わらせて頂く世界があつ

てよかったよ」と語っているような気がします。

昨春往生の素懐を遂げられた中西智海先生(勸学)は、我々の寺にお越し下さったとき、「法話の中で次のような詩をご披露下さいました。

限りある生命であればこそ
悔いなきように燃やし尽くそう
限りある生命であればこそ
今日のめぐり合いを大切にしよう
限りある生命であればこそ
いのちのゆくえを見つめよう
限りある生命であればこそ
限りなきいのちにならずこう

「まさしく、我が人生の道しるべだ！」と膝を打った仏縁の記憶が蘇ります。「限りある生命なんだよ」と真実を教えて往かれた有縁の先輩たちの身業説法のお蔭で、目覚めの人生が開かれるのです。「限りある生命」だからこそ、「限りなきいのち」におさめとられて往く、真実の救いが頼もしいのですね。

☆行事ご案内☆

◇秋季永代経

8月24日(土)午後1時半・夜7時半

25日(日)日午後1時半

講師：足利孝之先生(尼崎)

お経開き：24日(土)午前10時半より

◇キッズサンガ「8月3日(土)午後4時より『集い』、新しいお友達もぜひどうぞ。毎日5時の鐘つき誰でも可

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。

開設丸5年で11万5千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、一面お問い合わせ欄よりのメールや悩み相談には即返信します

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ

お電話を！5人の僧侶が週替わりで担当、3分間で法話が聞けます

三重組コーラス 8/7(水)西勝寺様での練習、他9/2、10/2

小杉仏教会追弔会 9月22日(日)午前・午後 鎌田宗雲師

※お磨き8月3日(土)午前8時 行事さんよろしく！

※親鸞聖人750回大遠忌法要が平成28年5月15日に変更！

※来年4月19日午後『初参式』を受ける赤ちゃん、幼児を大募集

※百五銀行阿倉川支店ロビー展、10月1か月間『第3回善正寺門信徒展』依頼、作品大募集！写真、絵、書、陶芸他、何でも結構

鐘つき後、本堂に向かって合掌する子供達



毎日5時の鐘つきに、友達誘ってお寺に集合



7/2三重組コーラス 名古屋別院音楽祭出演



写真アラカルト

坊守スケッチ

生まれてから

今日で何日目?

「あなたは今日で何日生きてきましたか?」と質問されたら、誰しも戸惑ってしまう。「何歳ですか?」と聞かれれば、すらすらと答えても、一日の重みの実感がぴんと来ない。しかしよく考えてみれば、一日として同じ経験、同じ気持ちの日はない。

亡き先代住職の歌に「何も知らずに生れ出て、知らぬ間に年を取り、思わぬ病気で死んでゆく。人の一生この道は 逃げも隠れもできぬ道」という一節がある。うかうかと過ごしてきた人生。今日という日は二度と来ない。

パソコンに私自身の生年月日を入力すると、誕生してから2万3338日(7/6現在)と表示された。これらの日々の中で、私は「生きていてよかった」とか「ありがとう」という気持ちで過ごした日数は、一体どれほどあっただろうか? 人生の節目となるような大きな出来事や、思い出深い経験をした時以外は、ほとんどがマンネリ化した日々、忘れ去ったのも同然の過ごし方をしてきた。ついでに3万日目の記念日を調べると、2031年10月2日と表示。私が81歳の時。あと18年ある。平均余命はあと25歳。ついでに住職の平均余命はあと17



バアチャンの膝の上で
お経を読む亮ちゃん

歳。お互いここまで生きられる保証は全くない。こう考えると些細なことで喧嘩をしていられない。無駄な一日など少しもない。家族揃って健康で過ごせる毎日が、貴重な日々のように思われてきた。興味のある方は、ネットで『暦くん、COM』で検索して自分の生まれてからの日数を調べて下さい。ところで読者の中には、医師から「余命何か月」と宣告されて、不安な毎日をお過ごしの方もいらっしゃるのだらう。最近は医療を取り巻く環境が大きく変わった。昔は家族にそつと知らせて、本人に悟られないように振る舞った。しかし現在では医療の効率化から入院期間も極端に短く、インフォームドコンセントが求められる。患者本人に直にがん告知をする。ある医師は言う。「何でも悪い情報を伝えればいいというものではない。多少の希望がないとどんな人間も前向きに生きられない。日頃から家族と心強い関係を築いていないと、この苦しみを一人では背負いきれない」。まさしく家族もろとも日頃の生き方が問われている。私自身「後生の一大事を心にかけて」と、お説教で何度もお聞かせ頂いているのに、「あと何年生きられるか?」などと暢気なことを言っている場合ではない。恵まれた今日の日を、感謝と喜びに溢れた一日としたい。「今朝もまた 覚めて目も見え 手も動く ああありがたや この身このまま」(平沢興先生作)の詩を『この道』のメロディで口ずさみ、一緒に散歩する有難さを感じた。味わった。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一
『花は咲く』ラストの出演
椅子席と 舞台解け合う
三重組コーラス
☆み堂にて 初誕生の 亮爾ちゃん
教本運ぶ 仕草かわいい
☆足の向く 野菜ブーは
滋味豊か 梅雨明け前の
俳画展にて

☆ホットニュース

☆8月中旬に、今年度門信徒会年会費集めと750回忌法要の趣意書をもつて、総代さん、行事さん、住職などが

手分けして巡回します。予定はあらかじめお知らせしてありますが、皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。
☆善正寺の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が平成二十八年五月十五日(日)に変更されました。諸般の事情により二週間遅れに変更。三年間の月日がありますが、皆様の熱意の結集が実感できる法要にいたしました。

☆来年(平成26年)4月19日(土)午後初参式を受ける赤ちゃん、幼児を大募集! 三全仏婦主催。会費千円。

☆百五銀行阿倉川支店で今年十月一か月間「第三回善正寺門信徒展」開催の依頼。展示作品を大募集中! 写真、絵、書、陶芸、何でも結構です。

【平成25年度今後の善正寺行事予定】
※8月24(土)・25(日)『秋季永代経』講師足利孝之師(尼崎)

※9月22(日)午前午後『小杉町仏教会追悼法要』講師鎌田宗雲師(滋賀)
※11月2(土)午後・夜・3(日)午前『報恩講』講師藤大慶師(京都府)

※11月23(土)午前秋勧進
※12月7(土)夜『お内仏報恩講』
※12月31(日)夜11時45分除夜の鐘
◇その他、毎月第3日曜日夜7時半より『門信徒会例会』

☆善正寺のホームページ。「三重 善正寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設丸5年で11万5千訪問。毎日平均100訪問。悩み相談、コメント大歓迎。

☆カンパ有難う☆
林寿美子様、水谷さわゑ様、加藤邦子様、澤田美智江様、富田和代様、本田和子様、柴田美津代様より御志や切手頂戴しました。ありがとうございます。

☆編集子より☆

「善正寺だより」第二三六号をお届けします。◇猛暑日、熱帯夜の続くこの夏を乗り越えるのは一苦勞。水分や栄養補給、十分な睡眠と適度な休息を◇水も電気も皆、我々の下に届けられるために沢山の「お蔭さま」がある。仏法こそ我が人生を豊かにする心の栄養剤。

「暑い暑い」と愚痴が出る夏がやって来ました。連日35度を超える地域も珍しくありません。アメリカカリフォルニア州には気温56度のデスバレー(死の谷)国立公園があります。水はたちまち熱湯になり、風が止むと声も出ない無音の境界、他の惑星に來たような錯覚に陥る所です。日本では少し我慢すればすぐ秋。今しばらくの辛抱ですが、熱中症にはくれぐれもご用心下さい。多胡輝先生の著書で面白い言葉を発見しました。『楽老』の条件は『まようよう』と『まようい』。「教養」と「教育」という意味ではなく、「今日行く所がある」と「今日する用事がある」という意味です。私はこの言葉に刺激されて早速行動開始。「体が動けば心も動く」心が動けば何かが変わる、新しい出会いがある。何かを学び、身も心も鍛えられる。老後をイキイキ楽しむ方法です。私の知り合いに法座の予定を絶えず入れて聴聞に励まれる方がいます。類は友を呼ぶ。ことく法友に恵まれてはつらつとお元気です。彼女達の「今日の用事」は「聴聞」。今日行く所は「お寺」なのです。坊主としてこんな嬉しいことはありません。私はその方々からPAUを介してもらいます。ところで8月24(五日)、25(六日)日水代経法です。兵庫から足利孝之先生をお迎えします。最愛の奥様を亡くされた深い悲しみの中でのご出講です。どんなお話が聞けるのか事やみなご法座です。どうかお誘い合わせてお参り下さいませ。会堂で夜間の臨時法会を行います。その参集下さいました皆様の協力もあしくお願います。平成25年8月善正寺坊主林